

かさま 社協だより

No.19



編集・発行 2012.12.25

社会福祉法人笠間市社会福祉協議会広報委員会 笠間市美原3-2-11 TEL.0296-77-0730

E-mail info@kasama-syakyo.jp URL http://www.kasama-syakyo.jp/



子どもヘルパー（高齢者と共に）

撮影 横堀

もくじ

- ① 社会福祉協議会役員の改選..... 2～3
- ② 茨城県社会福祉大会から 4
- ③ 子どもヘルパー派遣事業 5
- ④ 住みよいまちづくりを目指して 6～7
ボランティアのできること
- ⑤ 支所だより 8～9
- ⑥ お知らせ 10



この広報誌は共同募金の配分金を受けて発行しています。

して暮らせる をめざして

評議員決まる



会長
塩畑 敏之

去る7月の理事会・評議員会において、理事18人、監事3人、評議員39人が選任され、会長、副会長も決まりました。なお、選任された方々の任期は平成24年7月19日～平成26年7月18日までとなっています。

会長 塩畑 敏之
副会長 黒沢 政男
副会長 久保田満子

市民の皆様におかれましては、平素より当社会福祉協議会の事業推進にご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度の社会福祉協議会役員の改選に伴い、理事・評議員の皆様のご推挙とご賛同を賜りまして、会長という要職を拝命いたしました。

さて、今日の急速な少子高齢化や核家族化の進行により福祉ニーズは多様化し、また、社会的孤立や虐待などの問題が深刻化しております。これに対し、各種制度が整備され福祉サービスは充実してきておりますが、それだけでは解決できない課題も多いため、住民同士の支え合い・助け合いにより誰もが安心して暮らせる地域福祉の推進が求められております。もとより微力ではございますが、笠間市社会福祉協議会の円滑な運営をととして地域福祉の充実と発展に向けて、各種関係団体や行政との連携を図り、その職責を全うするよう努めてまいれる所存でございます。どうぞよろしく

お願い申し上げます。

理事

氏名	選出区分	地域
石本 芳子	福祉施設	笠間
大関 利男	区長会	笠間
松橋 慶子	ボランティア	笠間
稲田 實	民生委員児童委員	笠間
黒沢 政男	支部社協	笠間
瀬畑 洋子	民生委員児童委員	友部
菅谷 亨	支部社協	友部
太田 寛子	ボランティア	友部
郡司 正勝	区長会	友部
塩畑 敏之	学識経験	友部
岡野 博之	学識経験	岩間
永井 久	学識経験	岩間
中村 彦藏	区長会	岩間
久保田満子	ボランティア	岩間
佐藤 肇	民生委員児童委員	岩間
石松 俊雄	市議会代表	
小松崎栄一	行政代表	
藤枝 泰文	行政代表	

(石松理事は12月17日付で退職されました。)

監事

氏名	選出区分	地域
保坂 悦男	学識経験	笠間
鶴田 浩一	学識経験	友部
野口 賢男	学識経験	岩間

任期 平成24年7月19日～平成26年7月18日		
理事	住民代表	5名×3地区
	議会代表	1名
	行政代表	2名
監事	学識経験	1名×3地区
	住民代表	12名×3地区
評議員	議会代表	1名
	行政代表	2名

理事

社協の事務を処理すると同時に、外部に対して社協を代表する役員で、社協の運営・経営について、執行責任をもちます。

監事

社協事業の執行状況全体をみながら、事業や経理を監査します。

評議員

社協の予算、事業計画、定款の変更等社協の事項を審議・決定します。



副会長
久保田満子

このたび、副会長に選任されました久保田です。小さい時から、余計なお世話が大好きな私は、長い年月ボランティアとして過してまいりました。社会の情勢が大きく変わり高齢者が増え、子ども達のにぎやかな声がなくなったこともそのひとつだと考えます。そんな中、社協の果たす役割と課題の多さを感じます。安心して人を信じて住める街を目ざしてきめ細かな福祉のやさしい気持ちと心が届けられるような活動を進めていきたいと願っています。ご支援よろしくお願いいたします。



副会長
黒沢 政男

このたび理事会において副会長に選任されてお受けいたしました。至らぬ身ではございますが、大任をお受けいたしましたからには、全力を傾注し会長を補佐し笠間市社協の福祉推進を図ってまいります。地域の皆さんと共に、すべての人が安心して暮らせるまちを作って行く事を目標に努力する覚悟でございます。皆様には今後とも、いつそのご支援・ご指導をいただきますようお願い申し上げます、私の新任のごあいさついたします。

誰もが安心 地域社会

理事・監事・

氏名	選出区分	地域
海藤 清治	地区公民館・支部社協	笠間
小嶋 正広	福祉施設	笠間
野村 利	ボランティア	笠間
興野 政行	身障協	笠間
柴沼 真一	高齢者クラブ	笠間
長谷川美枝子	地域女性	笠間

評議員

氏名	選出区分	地域
関 和夫	保護司	笠間
樫村ふみ江	子ども会育成	笠間
入江 通弘	民生委員児童委員	笠間
三村拓次郎	区長会	笠間
大月 裕美	学識経験	笠間
長谷川健司	地区公民館・支部社協	笠間
櫻井 政夫	支部社協	友部
出地八重子	支部社協	友部
栗原 四郎	区長会	友部
菊地 寿代	ボランティア	友部
笹嶋 秀介	ボランティア	友部
原田 敏子	民生委員児童委員	友部
関 一雄	福祉施設	友部
藤枝 勉	福祉施設	友部
平本 増治	高齢者クラブ	友部
萩原紀美江	身障協	友部
石井 勝	商工会（友部）	友部
鈴木 健二	人権擁護委員	友部
美留町 寛	区長会	岩間
小沼 敬一	青少年相談員	岩間
藤井 敬一	地域代表	岩間

氏名	選出区分	地域
常井 鞠代	ボランティア	岩間
川崎 史子	民生委員児童委員	岩間
久保田運平	地域代表	岩間
小松 亮	福祉施設	岩間
数納富美江	手をつなぐ育成会	岩間
鈴木 建治	地域代表	岩間
佐久間容子	ボランティア	岩間
常井 武夫	地区社協	岩間
藤枝 好博	高齢者クラブ	岩間
萩原 瑞子	市議会代表	
山田 千宏	行政代表	
園部 孝男	行政代表	

（萩原評議員は12月17日付で退職されました）



茨城県社会福祉大会

市内のボランティア9団体と 個人18人が表彰される

10月26日、常陸太田市民交流センター「バルティホール」において、第62回茨城県社会福祉大会が開催され、県内各地から社会福祉に携わる、900人を超える関係者が参加しました。

松田あや子
常井 滋

社会福祉施設役員の部

鈴木 好古(八龍理事長)
伊藤 健一(聖桜会理事)
常井 洋治(同)

社会福祉施設職員の部

伊王野睦子(大沢保育園)
鶴岡 祐子(県立リハビリ)
上森香代子(同)
大和田みゐ(同)
綿引 智(同)

茨城県知事表彰

民生委員・児童委員の部

磯 利子
赤津 京子

社会福祉援助功労者の部

阿部 幸雄(心配ごと相談)
加藤 昌昭(心配ごと相談)
綿引 一(心配ごと相談)
ボランティアサークル
「十指の会」(ボランティア)

社会福祉協議会会長表彰

民生委員・児童委員の部

ボランティアの部
ナマステの会
シニア体験サポート
傾聴ひまわり
いきいきシルバリーハビリ会
映像でわが町をつくる会
点訳の会
笠間市シルバリーハビリ体
操指導士会笠間支部
心配ごと相談員の部
奥村 幹夫

県知事賞を受賞した手話通訳のボランティアサークル「十

指の会」代表の仲田よねさんは、「昭和53年に発足した伝統あるボランティアです。いつも誇りに思っていました。受賞した時は皆で喜び合いました。また、最高の賞を会を代表して知事より手渡していただき感謝しています。これから、社協に協力しながら、社会福祉活動を続けていきたいです」と喜びを語っていました。

また、永年心配ごと相談員等の福祉活動に携わり、県知事賞を受賞した加藤昌昭さんは、「相手の相談事をしっかりと受け止めて安心していただいたかどうか心配はあった。合同研修会などを通じた相談員同士の支え合いがあり続けられた。どれだけ役に立ったかわからないが、嬉しいです」と話していました。



表彰を受ける仲田よねさん

記念講演

講師 荒木由美子(タレント)

演題「私の介護」～荒木由美子が語る愛と感動の家族物語～

講師の荒木由美子さんは、結婚2週間後に義母が倒れ、その後亡くなるまでの20年間に渡って介護してきた経験で、涙ながらに、時にはユ一モアを交え、明るく話してくれました。

23歳で歌手の湯原昌幸氏と結婚した時義母は66歳。その2週間後脚の血管が詰まり手術、2か月入院した。嫁姑の関係は病院で始まったという。

義母が食べたい物が作れず、人に教わりながら作った。求めにに応ずることは嫁のなりたてには難しかったが、病院生活で義母の好みがあった。夫の喜ぶ親孝行がしたかった。やがて、食事のことやお金のこと、来客のことなどで認知の症状が現れたが「言わないと決めたなら、言っただけいい」との思いから義母と喧嘩をしたことはないという。



どんなことがあっても生き抜きなさいと教えられたという

医師に生活の様子を知ってもらうためにつけた日記をもとに、アルツハイマー型の認知症と診断された徘徊、部屋へのひきこもり、食事も拒み健康状況も良くなかった。苦しく辛いが、家ですることは相談に行けない現実がある。手を貸してと言えない。周りの人の声かけがほしい。夫が義母の首に手をかけた時、在宅介護の限界を感じ、老人保護施設に世話になることにした。7年余り世話になったが、いろいろな家族との付き合いがあり頑張れた。今日出来る介護をしようと心に決めた。亡くなる前日「ありがとう、これから由美ちゃんに悪いことないよ」が最後の言葉になったとのこと。感動的なお話でした。(生天目)



子どもヘルパー派遣事業：北川根小学校4年生



笑顔あふれる交流

グラウンドゴルフ

—ジジ・ババの指導でプレー「楽しかった」と大好評—



シルバーリハビリ体操で準備運動

10月10日・北川根ふれあい広場
旭ヶ丘団地の高齢者クラブと

10月10日（水）北川根ふれあい広場で、子どもヘルパー派遣事業の一つ、「グラウンドゴルフでお年寄りとの交流」が行われました。

北川根小学校4年生47人が8班に分かれ、お年寄り（コロナの会・旭ヶ丘団地の高齢者クラブ）2人ずつと組んで一緒にプレーしました。

グラウンドゴルフ初めての子ども達に対し、週に2回ほど練習しているというジジ、ババが熱心に指導しました。

通常より短いコース設定で、時間も1時間程度でしたが、子ども達もすぐに慣れ、笑顔あふれる交流が生まれました。

●全国社協からの取材

午前9時、社協の小池さんの司会で、川井教頭先生のあいさつ、コロナの会、支部社協、民生児童委員の方々の紹介等のあと、シルバーリハビリ体操をして8つのコースに分かれてプレーしました。全国社会福祉協議会職員が

子どもヘルパー派遣事業 今年は市社協の主催で

茨城県で昨年度から、小学生を「いばらき子どもヘルパー」として任命し、地域のお年寄りとの交流を通して「お年寄りを、地域みんなで支え合う」活動が始まりました。今年度は、笠間市社協が主催し、北川根小学校4年生が活動することになりました。これまでも、施設訪問（宍戸



ねらいをさだめて

取材におとずれ、子ども達にプレーの感想を聞いていました。「楽しかった」「いろいろ教えてもらってよかった」など大好評でした。

してお年寄りとの交流・親睦をはかるなどの活動が予定されています。

●敬老会のお手伝いも

9月15日に北川根小学校で行われた北川根地区敬老会でも、会の進行のお手伝いをするなど児童が活躍しました。子どもヘルパー派遣事業の活動は、笠間市社協の方々、社協北川根支部の方々、民生児童委員の方々が、子どもヘルパーに側面からサポートして行われています。

●用具を片付けて終了

グラウンドゴルフ終了後は用具を班ごとにきちんと片付け、川井教頭先生のあいさつに続いて子ども達がプレーの感想を出し合い、10時半過ぎに無事終了しました。（藤森）



片づけまでがプレーです



このマークのついている事業は赤い羽根共同募金が活用されています。

くりを目指して

の でき る こ と

平成24年度現在、3支所合わせて91のボランティアサークルがあり、前号では3つの活動の様子をお伝えしました。

本号では、友部社会福祉会館で行っている「第一火曜日の会」の活動やこれからの予定などを載せ、10月28日に開催した「ふるさとまつりinかさま」では市民とのふれあいの様子、そして皆様から集められたベクトボルのキャップが、どのようにしてワクチンになつていくかなど紹介いたします。

楽しく福祉が学べます

●「第一火曜日の会」

「第一火曜日の会」、皆さん耳にしたことがありますか。社協ボランティアセンターでは、毎月第一火曜日の午前中に友部社会福祉会館研修室で、市民の方を対象に福祉に関する学習会を行う日と決めています。

●平成23年度から活動始める

平成23年6月より、これまで友部社会福祉会館に来たことのない人にも、ボランティアセンターに足を運んでもらい、一人でも多くの方に福祉を理解してもらえらることを目的に始めました。

第一回は「ボランティアセンターのあり方」と題し、前笠間市ボランティア連絡協議会長飯田親男さんにボランティアセンターや推進委員について話してもらいました。

以後「大震災救援（宮城県）支援活動報告」「介護保険制度」「在宅福祉サービス」の勉強会。そして「レクリエ

ーションでリフレッシュ」「エコバックづくり」「野の花を使ってアレンジ」など身近で楽しい企画もしてきました。エコバックなどは出来上がった作品を持って帰れる楽しみがあり、好評で2回行うこともできました。

●長谷川幸介先生を迎えて

福祉会館に案内チラシを貼りお知らせしていたものを今年度からは「広報かさまお知らせ版」にも載せ、参加を呼びかけています。毎月一回、楽しく学習できるよう工夫していますが、講師の関係で開催日を変更することもあつて、その時々参加者は多い時あり、少数の時ありと様々です。



ユーモアを交えて

平成24年3月に茨城大学の長谷川幸介先生を迎えて実施した「シニア世代の地域デビュー」の講演会にはいつもより多くの参加者があり、会場は活気に満ちていました。

●参加をお待ちしています

来年1月17日は「シニア世代の地域デビュー」かつこいいデビューの仕方教えます」と題して、宇都宮大学の廣瀬隆人先生を迎えての講演会とボランティア活動の事例発表などを行う予定です。是非ご参加ください。

これからの予定

1/17(木) 1月のみ 開催日変更	シニア世代の地域デビュー 講師 宇都宮大学 廣瀬隆人先生 9:45～14:00 友部社会福祉会館2F研修室
2/5(火)	火を使わない簡単デザート 10:30～11:30 友部社会福祉会館2F研修室
3/5(火)	施設見学 指定障がい者通所支援事業所「さくら」 9:30～12:00 友部社会福祉会館1Fロビー集合
申し込み 問い合わせ	笠間市社会福祉協議会ボランティアセンター TEL.0296-78-2626

ちょっといい話

目にやさしい読書術

長時間読書をしていて目が疲れてしまふことはありませんか。目も体の一部なので使いすぎれば疲れます。目の疲れを感じたら、休めることを心がけましょう。

例えば30分ほど読書をしたら一度は目を閉じて、目を休める習慣をつける。これだけでも目の疲れは違ってきます。

読書に疲れたら空を見上げた時、遠くの山を眺めるのも毛様体筋の緊張をほぐす意味で有効です。

また、目の疲れにはぬれタオルをあてて冷やすのが良く、ドライアイの場合には蒸しタオルを目にあてて温めるのが良い場合もあります。

また、目の疲れを防ぐための環境づくりも大切です。私たちの目は机の上の本を見たり、周りのものを見たり無意識に動いています。このため周囲が暗いと目が疲れやすくなるので、部屋全体を明るくしましょう。(関)



ふるさと祭り 今年もにぎやかに

住みよいまちづ

ボランティア

『ふるさとまつり in かさま』

●福祉バザーで参加

10月28日(日)、みどりの広場(畜産試験場跡地)で開催された『ふるさとまつり in かさま』に笠間市ボランティア連絡協議会友部支部が参加し福祉バザーを行いました。9月に「広報かさまお知らせ版」で呼びかけをしましたら、市民の皆様から日用雑貨、衣類、子ども用品などを寄付していただきました。ボランティアセンター2階ロビーには、毎日品物が届けられ、善意の品々が山積みとなりました。10月24日、ボランティア約70人が値段つけを行いました。品物は慣れた手つきで次々分類され、値札が付けられた物は段ボールに入れられました。ボランティアは手際よくそれぞれの決められた役割を果たし、バザー前日には男性ボランティアが、社協から車で会場に運びました。

●雨にもかかわらず多くの人が

当日は約120人のボランティアが一丸となって『ふるさとまつり in かさま』に参加しました。手づくり食品コーナーでは恒例の大学いも、赤飯が出品され、今年はカレーうどんも加わりました。あいにく昼頃から雨になりましたが、カレーうどんは早々に売り切れました。

手作りの長座ぶとんと座ぶとんは、毎年楽しみに待っている方も多く「予約済」の札も張られて全て販売しました。

バザー夢工房では、この日のためにサークル会員が袋物や小物を作りました。きれいな色どりの袋物や仕上りの美しいブラウスやエプロンに人氣が集まっていました。

●市民とボランティアで

雨が本降りになった午後からはいつもより早めに「半額セール」に踏み切りました。今年の売上は70万円余りになり、昨年を上回ることができました。市民の協力とボランティアが一つになって福祉の一端を担った一日でした。

(飯野)

エコキャップから身近なボランティアへ

赤い羽根共同募金

笠間市社会福祉協議会では、身近にできるボランティア活動として、市民の方、学校、団体等にエコキャップの回収のご協力をしていただいております。

エコキャップは1kgを430個として計算し860個でポリオワクチン1人分の購入ができます。これがゴミとして焼却処分されると二酸化炭素が発生し、地球環境を壊します。

笠間市社会福祉協議会では、平成23年からエコキャップ推進協議会をとおして現在まで約2800人分のワクチンを途上国の子ども達へお届けしました。この活動を通して、少しでも自分が地球環境や発展途上の子ども達について考える機会になっていただけるのではないかと思います。活動が続いております。

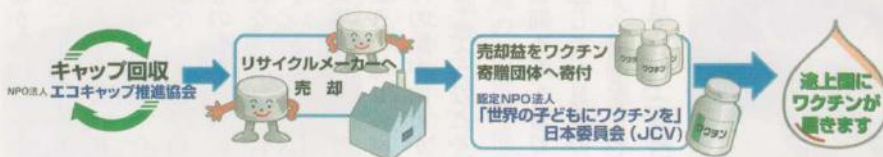
この活動は、子どもから高齢者の方まで誰でも参加できます。ご家庭にあるエコキャップで身近なボランティアを

してみませんか。ご協力よろしくお願ひします。

●お願い

清涼飲料水などの本体についているペットボトルのキャップを対象にしています。これらを出す時は簡単に洗ってください。

エコキャップがワクチンになるまで



このマークのついている事業は赤い羽根共同募金が活用されています。

本号も各支所の様々な活動を紹介します。

笠間支所では、各支部の代表が集まり支部（地区）社協運営委員会を開催。岩間支所では、穏やかな日和に恵まれ楽しく行くことのできた遠足。友部支部では、ボランティアが中心となった防災対策研修会。昨年は震災で行うことができなかったサマーフェスタの様子などをお知らせします。

だより



支部(地区)代表の皆様

笠間支所

支部社協の
充実を
目指して

笠間地区の支部社協代表者で構成される支部（地区）社協運営委員会が9月27日に旧笠間保健所会議室で開催されました。

この運営委員会は、市社協と支部社協、支部社協同士の連携及び連絡調整を目的に設置された委員会です。

まず、ケアハウスかさま山本施設長さんより計画中の「認知症予防教室」の説明を受けました。

社協職員からは、平成24年度の会員会費の報告と支部助成金についての説明がありました。

運営委員の皆様からは、各支部の活動状況のご報告をいただきました。また、「児童の登下校の見守り」「花いっぱい運動」「夏まつり」「田植え、稲刈り」「そば打ち」など、各支部とも住民の皆様が「幸せ」になる活動をたくさん展開していることが改めて理解することができました。しかし、役員の後継者がなかなか見つからないなどの課題もあるとの意見も出されました。

2月頃には、視察を計画し、更なる支部社協活動の充実、発展を目指すとともに、まだ支部社協が設置されていない地域への啓発も積極的に行うという方針で会議が終了しました。

岩間支所

いきいき
通所事業の
遠足

10月19日穏やかな日和に恵まれ、参加者45人は社協の大型バスで一路、那珂市の「健康センター」へと向いました。

この事業は、介護保健の認定を受けていない65歳以上の高齢者を対象に、閉じこもりや寝たきりにならないように趣味活動の場を設け、いきいきとした生活が送れるよう支援しています。

到着後大広間で昼食をとりその後、入浴する人、カラオケを歌う人、休憩をとる人と、ゆったりとした時間が流れて芝居の始まる時間に、移動して芝居小屋風の所へ入り、開演時間を楽しみに待つ。

いよいよ始まり、専属の一座の出し物で国定忠治の若い頃の任侠渡世のなかなかのもの



お弁当が楽しみです

で時折客席から拍手もあり、皆さん喜んでる様子でした。

休憩をはさんで今度は舞踊ショーで、息のつく暇もないくらいの流れで、「おひねり」みたいなものも有り客席と舞台が一緒になって、これ又皆さん喜んでるようでした。

皆さんは食事、入浴、芝居と満足したようで帰りのバスの中は手作りの飴が前方から廻ってきたりして、なごやかな空気でした。

バスが岩間支所へ着くのが早すぎる感じで、具合の悪くなる人もなく、無事楽しく過ごした秋の一日でした。（石郷岡）



思う存分体を動かして

支所

友部支所

ボランティア 連絡協議会

11月22日、笠間市友部社会福祉会館で、平成24年度笠間ボランティア連絡協議会友部支部の研修会が開かれ、64人の方々が参加されました。研修は2部に分かれ、午前の部は講演で、午後の部はボランティア活動の発表でした。

●講演

午前の部では、笠間市役所総務課の松田輝雄さんが、「地域防災について」というテーマで、話をされました。特に、東日本大震災時の笠間市の状況を詳しく説明され、その被害の大きさを、改めて認識しました。

さらに、大震災の体験をふまえ、自主防災組織の結成の重要性も述べられました。

●ボランティア活動発表

午後からは、2つの活動発表がありました。

①野菊の会

埴愛子さんより、この会の説明がありました。それによると、会員数10人で、地域の集いや福祉施設等へ行って、伝統芸能の「おかめひょっとこ踊り」を披露しているそうです。最後に、踊りの実演で、全員が盛り上がりました。



にっこり笑って大盛況

②旭フレッシュ健康体操の会
最初に、川澄清子さんより「フレッシュ健康体操」の、医学的効果の説明がありました。

この後、全員で体操の実施にうつり、各自、思う存分体を動かし、リフレッシュしました。

なお、この会は、会員数7人で、地域の高齢者や中高年者の、生活習慣予防に役立つようにと、普及に努めているとのことでした。

(調)

社協からのお知らせ

サマー フェスタに 携わって

実習生
田中美智代

今年の夏、笠間市社会福祉協議会（以下社協）にて相談援助実習をさせていただきました。実習期間中に開催されたチャリティーサマーフェスタに私もお手伝いとして参加しました。今年はちびっこ縁日、水遊び広場、和太鼓やバンドの演奏、模擬店など様々な催し物があり、当日は猛暑にもかわらず、地元の方をはじめたくさんの方々に来てくださいました。

私は小さい頃から友部に住んでいるので笠間市社協の存在は知っていましたが、どんな事業がありどんな人を対象にどのようなことを行っているのか、詳しくは知りませんでした。しかし、今回実習をさせていただき、社協が様々な方面から地域に住む人々のために力を尽くして頑張っていることを知り、福祉はとても温かく、また人と人との「繋がり」であるということに改めて学ぶことができました。



募金活動をする実行委員



このマークのついている事業は赤い羽根共同募金が活用されています。

善意の寄附を「ありがとう!!!」(善意銀行預託)

平成24年7月1日～平成24年10月30日まで(順不同・敬称略)

物 品

使用済み切手	笠間給食センター、萩原隆接工業所、菅谷 孝子	米80kg	岡野 博之
紙おむつ多数	瑞 玉乃、小園江はる子	白米60kg	上郷地域うまい米づくり研究会
エコキャップ多数	イチカワユニオン笠間支部、いわま保育園、海老沢 信雄、おしの保育園、グループホーム花水木、さくら幼稚園PTA、すみれ幼稚園、てらざき保育所、めぐみ保育園、茨城エコ・カルチャー笠間第一小学校児童クラブ、茨城県立こころの医療センターデイケアひだまり、岡野 けい子、高齢者クラブ旭台睦会、佐藤 天喜、柴沼 美智子、障害者支援センター 森田屋、大沢保育園、船橋 成子、友部小学校児童会	南瓜多数	飯田 正通
エコキャップ多数、ブルタブ多数	(有)伊藤石材工業	冬瓜多数	小瀬 美恵子
ブルタブ多数	ボブラクラブの会、園分 壽子	栗多数	中村 藤蔵
使用済み切手、使用済みはがき	笠間幼稚園PTA、田中 道子	じゃが芋10kg	田山 てる
エコキャップ、使用済み切手	くるす保育所、笠間工芸の丘 船橋 慶子	使用済み切手、エコキャップ、おねしょシート、食品、かけ布団、白米60kg、紙おむつ多数、台所用用品等多数、干し椎茸多数、その他	匿名
使用済みクオカード、エコキャップ	ファミリーマート友部東平店		
ブルタブ、使用済み切手	奥村 美知子		
使用済み切手2,230枚、使用済みテレカ10枚	秀芳会笠間支部		
エコキャップ、使用済み切手、ブルタブ	サンエツ工業		
未使用タオル526本	茨城県退職公務員連盟笠間支部友部地区、茨城県退職公務員連盟笠間支部笠間分會、茨城県退職公務員連盟笠間支部友部分會		
未使用タオル29本 雑巾4枚	大沢下長生会		
雑巾20枚、アクリルタワシ50個	黒沢 和子		
シャープペン1227本	笠間洗心館		
ぬいぐるみ多数	安田 一平		
福祉用具(車いす、歩行器)	友常 俊彦		

金 銭

株式会社フカツー	¥20,000
深作設備株式会社	¥20,000
笠間稲荷門前通り おかみさん会	¥6,510
日本盆栽協会笠間支部	¥3,700
大沢下長生会	¥7,898
笠間語り部の会	¥8,000
サマーフェスタ実行委員会	¥15,000
コロナの会 手芸愛好会	¥10,000
交通通児チャリティー茨城県自動車整備業会	¥110,000
さきがけ会	¥27,257
株式会社 ダイナム 信賴の森	¥39,890
笠間市チャリティーゴルフ大会実行委員会	¥149,928
(財) 合気会茨城支部道場	¥10,000
J A 茨城中央「みどりの風直売所」	¥14,500
笠間工芸の丘	¥50,000
茨城トヨタ自動車株式会社	¥200,000
北川根女性部	¥5,000
野口 貴	¥200,000
匿名 8件	¥30,067

前号で、新広報委員の紹介をさせて頂いたましたが、岩間地区広報委員が10月より久保田満子さんから石郷岡誠さんに変更になりました。新たなメンバーも加わり、また違った角度・視点から皆様に情報を提供できればよいと思っております。

広報委員会からのお知らせ

平成24年度 心配ごと相談所開設日程表

日常の困りごとなど何でも相談してください(無料・秘密保持)

時間: 13:00~16:00 (受付は 15:30 までをお願いします)

場所	笠間支所 (毎週火曜日) 旧笠間保健所	友部支所 (毎週水曜日) 友部社会福祉会館	岩間支所 (毎週木曜日) 岩間保健センター
1月	8日・15日・22日・29日	9日・23日・30日	10日・17日・24日・31日
2月	5日・12日・19日・26日	6日・13日・20日・27日	7日・14日・21日・28日
3月	5日・12日・19日・26日	6日・13日・27日	7日・14日・21日・28日

法律相談 ※予約が必要になります。お問い合わせください。

笠間支所	友部支所	岩間支所
第3金曜日 10:00~12:00	第1金曜日 10:00~12:00	第2金曜日 10:00~12:00

お問い合わせ先

社会福祉法人
笠間市社会福祉協議会

友部支所 0296-77-0730
笠間支所 0296-73-0084
岩間支所 0299-45-7889

7月に2年を任期として理事・監事・評議員が決まり、新たな体制が整い「誰もが安心して暮らせるまちづくり」を市民の皆様の協力のもと目指していきます。12月1日から「歳末たすけあい募金」が始まり、地域で生活課題を抱えた方々等への支援に役立てています。心より感謝いたします。皆様にとって良い年が迎えられることを願っています。

編集後記

